

令和6年度一般会計当初予算

歳 入

款	予 算 額
1 市 税	30,163,987 千円
2 地 方 譲 与 税	621,000
3 利 子 割 交 付 金	12,000
4 配 当 割 交 付 金	210,000
5 株式等譲渡所得割交付金	170,000
6 法 人 事 業 税 交 付 金	620,000
7 地 方 消 費 税 交 付 金	4,000,000
8 ゴルフ場利用税交付金	29,000
9 自 動 車 取 得 税 交 付 金	8,000
10 環 境 性 能 割 交 付 金	200,000
11 地 方 特 例 交 付 金	1,080,000
12 地 方 交 付 税	1,800,000
13 交通安全対策特別交付金	22,000
14 分 担 金 及 び 負 担 金	248,546
15 使 用 料 及 び 手 数 料	828,835
16 国 庫 支 出 金	8,920,106
17 県 支 出 金	4,681,104
18 財 産 収 入	394,121
19 寄 附 金	2,201,302
20 繰 入 金	4,527,030
21 繰 越 金	1,500,000
22 諸 収 入	2,700,969
23 市 債	8,352,000
計	73,290,000

歳 出

款			予 算 額
1 議	会	費	394,551 ^{千円}
2 総	務	費	7,557,898
3 民	生	費	27,034,571
4 衛	生	費	8,494,241
5 労	働	費	52,260
6 農	林	水 産 業 費	1,759,590
7 商	工	費	1,123,791
8 土	木	費	5,721,574
9 消	防	費	3,031,330
10 教	育	費	14,583,335
11 災	害	復 旧 費	30,000
12 公	債	費	3,436,858
13 諸	支	出 金	1
14 予	備	費	70,000
計			73,290,000

令和5年度一般会計予算執行状況

(令和6年3月31日現在)

歳 入

款	予 算 額	収 入 済 額
1 市 税	31,183,627 千円	30,650,467 千円
2 地 方 譲 与 税	629,000	625,316
3 利 子 割 交 付 金	12,000	12,055
4 配 当 割 交 付 金	240,000	250,355
5 株式等譲渡所得割交付金	250,000	257,929
6 法 人 事 業 税 交 付 金	600,000	621,680
7 地 方 消 費 税 交 付 金	4,200,000	4,261,114
8 ゴルフ場利用税交付金	29,000	29,661
9 自 動 車 取 得 税 交 付 金	1,200	1,228
10 環 境 性 能 割 交 付 金	160,000	153,784
11 地 方 特 例 交 付 金	307,061	308,141
12 地 方 交 付 税	2,175,732	2,215,865
13 交通安全対策特別交付金	26,000	21,424
14 分 担 金 及 び 負 担 金	221,310	232,065
15 使 用 料 及 び 手 数 料	748,542	765,566
16 国 庫 支 出 金	10,681,600	9,176,048
17 県 支 出 金	4,748,899	3,446,462
18 財 産 収 入	326,418	290,034
19 寄 附 金	2,518,890	2,467,808
20 繰 入 金	660,888	595,590
21 繰 越 金	3,222,041	3,222,042
22 諸 収 入	3,536,630	3,392,387
23 市 債	5,865,800	780,363
計	72,344,638	63,777,384

歳 出

款	予 算 額	支 出 済 額
1 議 会 費	427,532 千円	412,970 千円
2 総 務 費	7,197,344	5,903,718
3 民 生 費	27,115,440	23,213,547
4 衛 生 費	8,740,349	6,862,104
5 労 働 費	54,612	53,072
6 農 林 水 産 業 費	1,623,130	1,285,481
7 商 工 費	1,789,408	1,383,632
8 土 木 費	5,929,163	4,924,782
9 消 防 費	2,709,454	1,927,870
10 教 育 費	12,987,671	9,388,047
11 災 害 復 旧 費	189,273	163,978
12 公 債 費	3,445,270	3,261,987
13 諸 支 出 金	1	0
14 予 備 費	135,991	0
計	72,344,638	58,781,188

令和6年度特別会計当初予算

会 計 名	予 算 額
国 民 健 康 保 険 会 計	16,048,269 ^{千円}
介 護 保 険 会 計	12,334,838
後 期 高 齢 者 医 療 会 計	3,349,647
佐 久 島 診 療 所 事 業 会 計	54,103
計	31,786,857

令和5年度特別会計予算執行状況

(令和6年3月31日現在)

会 計 名	予 算 額	収 入 済 額	支 出 済 額
国 民 健 康 保 険 会 計	16,170,191 ^{千円}	15,071,100 ^{千円}	14,790,542 ^{千円}
介 護 保 険 会 計	13,199,406	12,076,041	11,073,669
後 期 高 齢 者 医 療 会 計	2,620,936	2,561,213	2,393,197
佐 久 島 診 療 所 事 業 会 計	54,712	35,496	35,179
計	32,045,245	29,743,850	28,292,587

令和6年度企業会計当初予算

(1)収益的收入及び支出

収 入

会 計 名	予 算 額
病 院 事 業	8,769,141 千円
水 道 事 業	3,481,386 千円
下 水 道 事 業	4,120,805 千円
渡 船 事 業	202,212 千円

支 出

会 計 名	予 算 額
病 院 事 業	10,567,634 千円
水 道 事 業	3,381,759 千円
下 水 道 事 業	4,050,192 千円
渡 船 事 業	202,212 千円

(2)資本的收入及び支出

収 入

会 計 名	予 算 額
病 院 事 業	1,460,805 千円
水 道 事 業	166,990 千円
下 水 道 事 業	2,305,413 千円
渡 船 事 業	50,000 千円

支 出

会 計 名	予 算 額
病 院 事 業	1,460,805 千円
水 道 事 業	1,828,588 千円
下 水 道 事 業	3,383,897 千円
渡 船 事 業	50,065 千円

令和5年度企業会計予算執行状況

(令和6年3月31日現在)

(1)収益的收入及び支出

収 入

会 計 名	予 算 額	収 入 済 額
病 院 事 業	8,887,499 ^{千円}	8,931,912 ^{千円}
水 道 事 業	3,475,922 ^{千円}	3,458,838 ^{千円}
下 水 道 事 業	4,055,825 ^{千円}	3,892,121 ^{千円}
渡 船 事 業	191,920 ^{千円}	152,936 ^{千円}

支 出

会 計 名	予 算 額	支 出 済 額
病 院 事 業	10,401,930 ^{千円}	9,654,495 ^{千円}
水 道 事 業	3,250,566 ^{千円}	3,062,411 ^{千円}
下 水 道 事 業	3,979,260 ^{千円}	3,806,379 ^{千円}
渡 船 事 業	191,920 ^{千円}	15,403 ^{千円}

(2)資本的收入及び支出

収 入

会 計 名	予 算 額	収 入 済 額
病 院 事 業	1,419,410 ^{千円}	1,336,135 ^{千円}
水 道 事 業	231,374 ^{千円}	241,659 ^{千円}
下 水 道 事 業	2,381,331 ^{千円}	2,300,355 ^{千円}
渡 船 事 業	200,200 ^{千円}	68,600 ^{千円}

支 出

会 計 名	予 算 額	支 出 済 額
病 院 事 業	1,419,410 ^{千円}	1,335,991 ^{千円}
水 道 事 業	1,724,907 ^{千円}	1,307,611 ^{千円}
下 水 道 事 業	3,422,352 ^{千円}	3,264,441 ^{千円}
渡 船 事 業	200,258 ^{千円}	68,750 ^{千円}

市 債 の 現 在 高

(令和6年3月31日現在)

会 計 別

区 分	現 在 高	構 成 比
一 般 会 計	31,139,994 ^{千円}	55.8 %
病 院 事 業 会 計	2,223,488	4.0
水 道 事 業 会 計	782,442	1.4
下 水 道 事 業 会 計	21,632,392	38.7
渡 船 事 業 会 計	68,600	0.1
計	55,846,916	100.0

借 入 先 別

区 分	現 在 高	構 成 比
財 務 省	36,761,281 ^{千円}	65.8 %
ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険	2,257,573	4.0
地方公共団体金融機構	5,482,302	9.8
三 菱 U F J 銀 行	239,326	0.4
西 尾 信 用 金 庫	7,520,554	13.5
碧 海 信 用 金 庫	270,076	0.5
岡 崎 信 用 金 庫	45,685	0.1
蒲 郡 信 用 金 庫	254,365	0.5
愛 知 県 中 央 信 用 組 合	659,682	1.2
愛知県市町村職員共済組合	1,337,406	2.4
愛知県市町村振興協会	920,136	1.6
全国市有物件災害共済会	98,530	0.2
計	55,846,916	100.0

市 有 財 産

(令和6年3月31日現在)

○ 一 般 会 計

土 地	3,857,668.93	m ²
建 物	536,132.47	m ²
基 金 (現金)	12,659,304,675	円
(有価証券)	18,150,000	円
有 価 証 券	67,704,000	円
出 資 金	85,302,000	円

○ 国 民 健 康 保 険 特 別 会 計

基 金	514,330,341	円
-----	-------------	---

○ 介 護 保 険 特 別 会 計

基 金	860,509,469	円
-----	-------------	---

○ 佐久島診療所事業特別会計

土 地	1,454.79	m ²
建 物	235.25	m ²

令和6年度 西尾市予算編成方針

1 経済現状と国の動向

コロナ禍、ウクライナ危機による世界的な物価上昇を契機に、政府が進める「新しい資本主義」の政策もあいまって企業の価格転嫁が進み始め、40年ぶりの物価上昇となったものの、内閣府発表の2023年4～6月期の国内総生産（GDP）は、年率換算で4.8%増のプラス成長となり、政府は、現在の経済状況について、令和4年後半以降、サービスを中心とした個人消費や、好調な企業収益を背景として設備投資が持ち直すなど、内需を中心に緩やかな回復を続けてきており、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更に伴い、経済が自律的に循環する環境が整ったとしています。

こうした中、国の令和6年度予算編成は「経済財政運営と改革の基本方針2023」等に基づいた、構造的賃上げの実現、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本強化を含めた新しい資本主義の加速などの重要課題に対応する政策の実現に向けて、各省から出された概算要求総額は114兆円前後となり、過去最大の規模となる見通しです。

2 地方財政の状況

地方財政は、社会保障関係費の増加が見込まれる中、歳入では行政サービスを安定的に提供できるよう、「新経済・財政再生計画」、「経済財政運営と改革の基本方針2023」等を踏まえ、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額について、令和5年度地方財政計画と実質的に同水準を確保するものとしています。

また、歳出では、DX・GXの推進、こども・子育て政策の強化、地方への人の流れの強化等による個性をいかした地域づくりの推進、防災・減災、国土強靱化を始めとする安全・安心な暮らしの実現、人への投資など、活力ある多様な地域社会の実現等に取り組むことを目指しています。

3 西尾市の財政状況

本市の財政状況を見ますと、歳入の根幹となる市税は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進むなか、賃金の上昇により個人市民税は回復傾向にあるものの、製造業を中心に原材料・燃料価格の上昇等の不確定要素を抱えており、法人市民税は不透明な状況が続くことが見込まれます。

令和5年度当初予算では、文化会館や消防署庁舎の改修、保育園の建替えに係る事業など、普通建設事業費が100億円を超え、折からの物価上昇等の影響もあり、予算総額は合併後最高額の658億4千万円で前年度比5.7%増となりました。

この予算に対応するための歳入は、前年度比47.4%増となる53億円あまりの市債を計上しました。今後も、学校など老朽化した公共施設の長寿命化や広域ごみ処理施設整備事業などに対応するため、合併後減少していた市債残高は増加することが見込まれます。

さらに、物価上昇の影響は継続・拡大しており、入札の不調や事業費の増加など、様々

な事業の実施に影響を与えております。加えて、6月にこの地方を襲った大雨により、災害復旧に伴う事業費を計上したほか、コロナ禍からの回復を見込んだ市税も微増となることが見込まれ、財政調整基金を活用せざるを得ない状況です。

財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するため、取崩しは止むを得ないところですが、今後見込まれる大型事業や予期せぬ災害への備えとしては勿論、社会保障費の増大やこども・子育て政策の拡充、DXの推進など、これからの課題にもきめ細かく対応するために一定額を確保しておく必要があります。

4 令和6年度予算編成の基本方針

本市の令和6年度の当初予算編成にあたっては、今後の**財政運営を持続可能なもの**とできるよう、次のとおり取り組むものとします。

- (1) **ゼロベース査定を継続し、不急の事務事業は実施しない**など、経費削減を徹底するとともに、国・県補助金の積極的な獲得、交付税措置等出来るだけ有利な条件での起債の活用、ふるさと納税制度の一層の推進等により、財源確保に努めます。
- (2) 経常的経費について、物価上昇などによる増額が見込まれますが、事業費ベースで**対前年度比10%のマイナスシーリングを原則**とします。
- (3) 新規事業の構築（公共施設の新設を含む）にあたっては、**スクラップ&ビルドを前提**とし、**既存事業の廃止・縮小・集約を行った上で**、新規事業の適時性、費用対効果、将来展望及び後年度負担など総合的に検討するものとします。また、既存事業の拡大に関しても、新規事業と同様に検討するものとします。特に、**公共施設の在り方について、総量圧縮による維持管理経費の削減などを積極的に検討する**ものとします。
- (4) 市の重点施策として、以下の事務事業については、可能な限り優先的に予算配分を行うものとします。
 - 津波避難タワーの整備などの防災・減災対策
 - 保育園等の建替えや多様化する保育ニーズ、定員拡大に対応した子育て環境の整備
 - 小中学校施設等の長寿命化や子どもたちに寄り添うきめ細かな教育環境の整備
 - 行政サービスと市民生活のデジタル化
 - 官民連携・SDGsの推進
 - 「スポーツまちづくりビジョン2040」に基づく、ソフト・ハードの両面で誰もが楽しめるスポーツ環境の整備
 - ワクワク西尾創生コンテスト及び各部各課提案の優秀提案に対して必要な予算

厳しい社会経済状況においても、多様化する課題への的確に取り組み、未来に夢や希望を持てる躍動感に満ちた「もっとワクワクするまち にしお」の実現に向けて、限られた財源を有効活用し、効率的・効果的かつ安定的な行財政運営に職員が一丸となって取り組むものとします。

令和6年度西尾市病院事業会計予算概要及び経営方針

令和6年度予算は、病院事業収益を87億6,914万1,000円、病院事業費用を105億6,763万4,000円計上しました。また、資本的収入を14億6,080万5,000円、資本的支出を14億6,080万5,000円計上しました。

今年度の新たな取り組みとしては、病院施設内の照明をLED照明設備へ更新してまいります。

事業の経営方針については、「市民の生命を守る病院」として、令和4年度末に策定した「西尾市民病院経営強化プラン」で定めた医師確保対策や地域の医療機関との連携強化といった経営改善にかかる取組を着実に実行し、安全で満足度の高い医療サービスを提供してまいります。

1 業務の予定量

病床数	321床
年間患者数	
入院	89,425人
外来	162,810人
一日平均患者数	245人
入院	670人
外来	
主要な建設改良事業	
建設改良事業	548,495千円
資産購入事業	177,846千円

2 収益的収入及び支出

(収入)

病院事業収益	8,769,141千円
医業収益	7,472,889千円
医業外収益	1,287,571千円
訪問看護事業収益	8,678千円
特別利益	3千円

(支出)

病院事業費用	10,567,634千円
医業費用	10,214,722千円
医業外費用	312,845千円
訪問看護事業費用	39,064千円
特別損失	3千円
予備費	1,000千円

3 資本的收入及び支出

(収入)

資本的收入	1,460,805千円
企業債	685,000千円
出資金	769,802千円
補助金	1千円
固定資産売却代金	1千円
投資回収金	6,000千円
寄附金	1千円

(支出)

資本の支出	1,460,805千円
建設改良費	726,341千円
企業債償還金	588,664千円
他会計長期借入金償還金	70,000千円
投資	75,800千円

令和6年度西尾市水道事業会計予算概要及び事業の経営方針

当市の水道事業においては、主たる収入である給水収益は減少傾向にあり、支出においても、管路の耐震化、老朽化した管路や施設の計画的な更新等、多大な投資を予定しており、今後も厳しい財政状況が見込まれます。令和6年度予算は、コスト削減の意識を徹底し、かつ的確な優先度・緊急度による事業選択をし、支出の効率化に努めた予算計上をしました。

予算の概要としては、水道事業収益は34億8千138万6千円、水道事業費は33億8千175万9千円を計上し、前年度対比で収益は0.8%の増加、事業費は1.7%の増加となっており、今年度の収支は2千531万5千円の純利益を見込んでおります。

また、資本的収入は1億6千699万円、資本的支出は18億2千858万8千円を計上し、前年度対比で収入は25.7%の減少、支出は11.6%の増加となっております。

事業内容としては、一般申込、水量不足に伴う新規の配水管工事へ1億2千万円、重要管路更新、老朽管更新、移設依頼等に伴う配水管布設替工事へ9億9千10万円、水源施設等の電気、機械、計測設備更新工事へ3億4千878万1千円等を計上しました。

事業の経営について、企業としての経済性を常に意識し、無駄を省いた合理的な運営をして地域住民への安定給水に努めます。

1 損益勘定

	(収 入)	予算額	
水道事業収益		3,481,386	千円
営業収益		3,171,190	千円
営業外収益		309,953	千円
特別利益		243	千円
	(支 出)		
水道事業費		3,381,759	千円
営業費用		3,354,536	千円
営業外費用		16,223	千円
特別損失		1,000	千円
予備費		10,000	千円
※当年度純利益		25,315	千円

2 資本勘定

	(収 入)		
資本的收入		166,990	千円
工事負担金		147,947	千円
負担金		18,793	千円
補助金		20	千円
固定資産売却代金		230	千円
	(支 出)		
資本の支出		1,828,588	千円
建設改良費		1,797,433	千円
償還金		31,155	千円

3 主な水道事業

	予算額	
※一般工事関係	1,675,331	千円
配水管布設工事	120,000	千円
配水管布設替工事	990,100	千円
配水管撤去工事	4,000	千円
消火栓築造・取替工事	21,550	千円
電気・機械・計測設備更新工事	348,781	千円
仕切弁設置工事	5,000	千円
建築及び外構工事	185,900	千円

令和6年度西尾市下水道事業会計予算概要及び事業の経営方針

本市の下水道事業においては、今後、保有する資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少に伴う使用料収入の減少などにより、経営環境は厳しさを増すことが予測されます。令和6年度の予算編成にあたっては、このような状況を踏まえ、将来に負の財産を残さない堅実な財政運営に向けて、維持管理コストの削減や事業手法の見直しを徹底し、より一層の経費の削減・抑制に努めた予算計上をしました。

令和6年度予算の概要としては、下水道事業収益は41億2千80万5千円、下水道事業費用は40億5千19万2千円を計上し、前年度対比で収益は0.8%の増加、費用は1.0%の増加となっており、今年度の収支は50万1千円の純利益を見込んでいます。

また、資本的収入は23億541万3千円、資本的支出は33億8千389万7千円を計上し、前年度対比で収入は7.3%の減少、資本的支出は4.1%の減少となっております。

主な事業内容としては、公共ます・取付管設置工事へ1億4千240万円、公共下水道築造工事へ5億5千880万円、管渠等の改築工事へ2億700万円、下水路整備工事へ1億3千640万円、ポンプ場改築工事へ1億1千920万円等を計上しました。

事業の経営については、持続可能な下水道事業経営に向け、費用縮減に向けた各種施策を展開するとともに、他会計繰入金に依存しない適正な財源確保を図ることで、収支ギャップの解消を目指すことを経営の基本方針としています。

1 損益勘定

	(収 入)	予算額
下水道事業収益		4,120,805 千円
営業収益		1,738,727 千円
営業外収益		2,382,077 千円
特別利益		1 千円
	(支 出)	予算額
下水道事業費用		4,050,192 千円
営業費用		3,717,052 千円
営業外費用		322,640 千円
特別損失		500 千円
予備費		10,000 千円
※単年度純利益		501 千円

2 資本勘定

	(収 入)	予算額
資本的収入		2,305,413 千円
企業債		1,091,000 千円
他会計出資金		733,198 千円
他会計負担金		64,896 千円
補助金		342,500 千円
受益者負担金及び分担金		73,817 千円
工事負担金		1 千円
固定資産売却代金		1 千円
	(支 出)	予算額
資本的支出		3,383,897 千円
建設改良費		1,754,115 千円
企業債償還金		1,629,782 千円

3 主な下水道事業

	予算額
※建設改良工事関係	1,199,800 千円
公共ます・取付管設置工事	142,400 千円
公共下水道築造工事	558,800 千円
管渠等の改築工事	207,000 千円
下水路整備工事	136,400 千円
水中ポンプ等取替工事	6,000 千円
ポンプ場改築工事	119,200 千円
各種ポンプ等取替工事	30,000 千円

令和6年度西尾市渡船事業会計予算の概要及び事業の経営方針

令和6年度予算の概要

1. 業務の予定量

- (1) 船舶数 2 隻
- (2) 年間総乗船人員 2 6 0, 2 0 0 人
- (3) 一日平均乗船人員 7 1 3 人
- (4) 主要な建設改良事業 船舶建造

2. 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分		渡船事業
収 入	事業収益 (A)	2 0 2, 2 1 2 千円
	営業収益	2 0 1, 3 6 6 千円
	営業外収益	8 4 6 千円
支 出	事業費用 (B)	2 0 2, 2 1 2 千円
	営業費用	1 8 7, 4 8 2 千円
	営業外費用	1 3, 7 2 9 千円
	特別損失	1 千円
	予備費	1, 0 0 0 千円
差引額 (A) - (B)		0 千円

3. 資本的収入及び支出

(単位：千円)

区 分		渡船事業
収 入	資本的収入 (A)	5 0, 0 0 0 千円
	出資金	0 千円
	企業債	5 0, 0 0 0 千円
支 出	資本的支出 (B)	5 0, 0 6 5 千円
	建設改良費	5 0, 0 6 5 千円
	企業債償還金	0 千円
	予備費	0 千円
差引額 (A) - (B)		△ 6 5 千円

区 分	渡船事業
補てん額	6 5 千円
過年度分損益勘定留保資金	6 5 千円

令和6年度事業の経営方針

渡船事業につきましては、令和5年度はアフターコロナによる乗船客数の回復を見込んでおりましたが、コロナ禍前の乗船者数に戻らず、経常収支が赤字となる予定です。旅客船「はまかぜ」の代替船については令和5年度に事業が始まり、令和6年度秋に就航を予定しています。安全運航と集客に期待するところですが、今後、多額の減価償却費等を計上するため、事業経営を圧迫します。

燃料費の高騰も続いており、非常に厳しい経営環境ですが、島民や乗船客が安全で快適な船旅ができるように施設の維持管理を適切に行いながら、安定的な経営に努めていきます。